

令和 5 年度 事業計画（案）

I. 基本方針

伊豆市は旧 4 町が合併して以来、高齢化率が上がり続けております。市内の高齢化が進む中シルバー人材センターの果たす役割と期待は年々大きなものとなっており、シルバー人材センターはこれまで培った知識や技能、経験を活かし、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと地域社会の活性化に大きく貢献してまいりました。

しかし、この数年で新型コロナウイルス感染症が生活様式を一変させ、社会経済に大きな影響を与えました。当センターに於いては高年齢者雇用安定法の一部改正が大きな変化をもたらし、会員数の確保・維持に大きく影響を与えております。

シルバー人材センターを取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、常に新しいことに目を向け、時代の変化に対応しながら、信頼されるシルバー人材センターを目指し、自治体や近隣センター、他の関係機関とも連携・協働しながら、生きがいの充実と福祉の増進を図り、「福祉の受け手から社会の担い手」として、地域社会において大きな役割を果たす団体として努めていきます。

令和 5 年度は、前年度の取り組みを踏まえつつ、高年齢者の健康と生きがいづくりとして、潜在的に眠っている高齢者の就業意欲を掘り起こし、シルバー人材センターにおけるマッチングの機能を強化し、地域の高齢者の就業率を高めることを目標に、会員及び役職員が一丸となって事業を発展させてまいります。

II. 重点目標

- (1) 4 年間の中期計画の推進
- (2) 安全就業の強化と健康管理の推進
- (3) 会員拡大と普及啓発活動の推進
- (4) 適正就業と就業機会の確保の推進
- (5) 独自事業の推進
- (6) デジタル化の推進
- (7) 組織体制の強化と財政運営の適正化の推進

Ⅲ. 実施計画

(1) 4年間の中期計画の推進

- ① 時代の変化に伴う新しいシルバー人材センターの役割を、行政や関係機関・地域社会の理解を得ながら推進します。
- ② 厳しい社会経済による財政状況を考慮し、効率的な事業運営を目指し、会員・役員・職員が一体となり推進します。

(2) 安全就業の強化と健康管理の推進

- ① 会員1人ひとりの安全意識の向上を図り、就業中や就業途上における事故の撲滅を目指します。
- ② 「安全・適正就業推進基本計画書」に沿った事故の防止に努めます。
- ③ 健康診断の受診を会員に推奨し、健康管理に対する意識の向上に努めます。
- ④ 運転業務従事者に対して安全運転講習を行い、事故の防止に努めます。
- ⑤ 安全委員による就業現場の巡回パトロールを実施し、事故の防止と事故への啓発意識の向上に努めます。
- ⑥ 会員の健康就労支援のため、関係機関と協力して運動機能テストやアンケート調査等の健康調査を実施します。

(3) 会員拡大と普及啓発活動の推進

- ① 会員の「知人・友人」への1人1会員紹介運動を推進します。
- ② 会員拡大に向け毎月第2木曜日に伊豆市地域職業相談室での『入会・説明相談窓口』を実施するほか、毎月第3木曜日に入会説明会を実施します。
- ③ 広報誌『シルバー伊豆』の発行や市内イベントでのチラシ配布等を実施しPRを行います。
- ④ 地域社会との連携を深めるため、社会奉仕活動や交通安全啓発運動などのボランティア活動を実施し普及啓発に努めます。
- ⑤ 広く講習会やセミナーを実施し、新規会員の確保に努めます。
- ⑥ 退会抑制のため、会員向け講習や講座の実施、会員互助会と連携し同好会活動等への社会参加を促します。
- ⑦ ホームページ等インターネットを活用した情報発信の強化に努めます。
- ⑧ 近隣センターと協力し女性会員の拡大を含めた交流会を実施致します。

(4) 適正就業と就業機会の確保の推進

- ① 「適正就業ガイドライン」の周知徹底に努めます。
- ② 適正就業や高齢者の雇用機会の拡大を図るため、シルバー派遣事業・有料職業紹介事業を有効に活用します。
- ③ 公平な就業機会提供のため、引き続きワークシェアリングを推進していきます。
- ④ 伊豆市介護予防・日常生活総合支援事業を実施し就業機会の増加を目指します。
- ⑤ 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業として就業開拓や就業会員の確保を実施、新たな職域拡大を目指します。

(5) 独自事業の推進

- ① ますます盛春農園・正月飾り制作販売・筍出荷事業を今後も継続事業としていくために、後継者の育成を図り就業機会の確保を目指します。
- ② スマホ相談会や出会いサポート等、地域の活性化に繋がる事業について検討し、事業化を目指します。

(6) デジタル化の推進

- ① 会員のデジタルリテラシー向上に努め、業務連絡・就業報告等にはSMSやLINE・メール機能を活用し、業務連携の効率化・簡素化を目指します。
- ② 会員のデジタルリテラシー向上のためスマホ相談会を実施します。

(7) 組織体制の強化と財政運営の適正化の推進

- ① 会員・役員・職員が連携を密にし、苦情・要望・提案などの情報の共有化を図ります。
- ② 全ての会員がシルバー人材センターの理念である『自主・自立』に基づいた自主的・主体的な活動が出来るよう意識の改革に取り組みます。
- ③ 理事会をはじめとした各部会・委員会等の組織の活性化を図ります。
- ④ 事務量の増加・複雑化に対応するため、デジタル機能を活用した、事務の効率化を目指します。
- ⑤ 経費削減に努めると共に効率的・効果的、また合理的な事業運営に努めます。